

I 工事概要

- #### 4 建物概要

工事種目（●印を付いたものを適用する。）


主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）

- 1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けが済んでいる場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

10 同時期発注の関連工事

1 共通仕様

- 2 特記仕様

課長	副課長	主幹	主査	担当	 〔株〕 一級建築士 一級建築士 埼玉県鶴ヶ島市

- ### ⑮ 防露保温工事

注) 1. 冷风管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。
屋内外露部 ※保温化被覆材(※樹脂製・亜鉛メッキ鋼板製・SUS製)
屋内露出部 ※溶接アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ◎SUSラッキング
・保温化被覆材(※樹脂製・亜鉛メッキ鋼板製・SUS製)

2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替へ、アルミガラス化粧原紙を使用する。

3. 機器類の保温材の種別は、(※ガラスウール保木材・ロックウール保木材)とする。

ダクトの保温の種別		
区 分	施 工 箇 所	保 温 種 別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・（□）・XⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・（□）・XⅠ
	屋内隠ぺい、DS内	I・（□）・XⅠ
	屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・（□）・XⅠ
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・（□）・XⅠ
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・（□）・XⅠ
	屋内隠ぺい、DS内	N・（□）・XⅠ
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・（□）・XⅠ
消音内貼り	サブライチャンパー	M・（□）・XⅠ
	消音チャンパー・消音エルボ	L・（□）・Ⅵ

注) 1. 消火、排水及び通気管のうち差しかかっている部分には塗装を施す。
2. 排水管の管径が排水1層管、排水Vpの管径は、保温を要しない。
3. 施工用配管の材料及び施工順序3.4に替へ、アルミガラス化粧紙を使用する。
4. 機器等の保温材の種別は、(※グラスウール・ロックウール)と使用する。
5. 消火管露出部保温仕様は、e3、(ハ)、Ⅷとする。
6. 便所内露出するS管及び流し内露出するS管は保温を要しない。
7. 空調設備を必要と便所(特別支援学校等)以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所により保温を要しない。
※ロックウール・グラスウールのホルムド材に開放量による区分は、原則として☆☆☆☆とする。

- ## 19 防凍保溫

- 20 塗 裝

- ② 電 線

		【小鹿野中学校第一体育館】 2024.12	
設計年度	工事名称	図面番号	
令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	M-01	
	図面名称	縮尺	S-NS (A1) S-NS (A3)
	機械設備工事 特記仕様書 (1)		

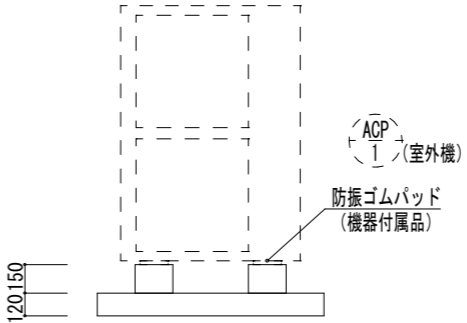
		(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せし設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時期外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財) 日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時期取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。		標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 H F C (R 4 1 0 A、R 3 2 又はR 4 0 7 G) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	11 擬音装置 12 そ の 他	トイレブースに設置する。 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット 4 排の適用 別紙樹表による。							
●空気調和設備	① 設計温度	外 気 温度 (DB) 湿度 (RH) 一般系統 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏 期 37.1℃ 47.1% 28℃ %℃ %℃ %℃ % 冬 期 0.5℃ 49.4% 20℃ %℃ %℃ %℃ % ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	○換気設備	1 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	○給水設備	1 配管材料 配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 施 工 箇 所 管 種 別 床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。) ※SUS ・ポリブテン管 ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS 地中埋設部 (水道直結部分) ・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E) ・ 地中埋設部 (一般部分) ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E) ・ 県営住宅 住戸内 ※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管 便所天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 床下、暗渠内 (ビット内、共同溝を含む。) ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 湿潤シンダー内配管 ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS 地中埋設部 (一般部分) ※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管 (P E) 便所天井内、P S内 (注5) ※高密度ポリエチレン管 (32A以上) 便所天井内 ※ポリブテン管 (10mm保温付) 便所空腔壁内又は衛生器具等接続管 ※ポリブテン管 その他の部分 ※SUS ・H I V P ・ポリブテン管 (注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・グランド) ※監視 便所 ・廊下走り廻り露出配管 (※監視) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JIS-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用窓を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (P E 100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。	○給湯設備	1 配管材料 ・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 2 絶縁フランジ 3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JIS-IIによる。 4 ガス瞬間沸湯器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。						
	② 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ○しない 水量調整 ※する ※しない 騒音の測定 ※する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ※しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ※しない 3 煙 道 (1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない 4 煙 突 ※別途 ・本工事 5 長方形ダクト ※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分) 6 円形ダクト ※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。 7 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト 8 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 9 吹出口及び吸込口ボックス ※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製 10 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) ⑪ 配管材料 (1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) (5) ドレン管 (屋外) ※硬質塩化ビニル管V P (カラー) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (XHD/ACD/UP/IG 相当品) ・耐火二層管V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・ 14 圧 力 計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・ 15 瞬間流量計 瞬間流量計はビト管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 16 油面制御装置 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 17 冷却塔 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	○排水設備	1 ダ ク ト ※亜鉛鉄板 ・ 2 排煙口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 3 排煙口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。 ○排煙設備 1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ○二次側配線 1 小使器用節水装置 JIS B 2061 (自動水栓) による電気開閉式とし、小使器 (※一体形・分離形) とする。 2 バリアフリー対応 ・小使器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり (・本工事 ※別途工事) ・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (照明無 ・照明付) 3 衛生器具付風水栓 (1) 器具付風止水栓は ※ドライパー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。 4 自動水栓類の電源 ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 5 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電 6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。 7 掃除用 ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。 8 排水器具用「L」継手 ※使用できる ・使用できない 9 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 10 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。		○給湯設備	2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。 3 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。 5 量水器 4 量 水 器 ※計測ター (※貸与品 ・) ・子メーター (※買取り ・) ※水道事業者指定品 ・標準図MC形 6 弁 類 規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。 7 水 栓 柱 ・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓 8 建物導入部配管 図示部分について下記ののとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c)) 9 検針方法 水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。 10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。 11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。	○ガス設備	1 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はP E管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※ ガス用P E管 2 漏洩検知装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。 3 液化石油ガスの供給権 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。 ○厨房設備 1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。					
備 考		課長 副課長		主幹 主査 担当		〔株〕新日本設計		所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事	図面番号 M-02	
						一級建築士事務所登録(8)第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)		松崎	藤村	深野	令和7年度	図面名称 機械設備工事特記仕様書(2)	縮尺 S=NS(A1) S=NS(A3)	

機 器 表

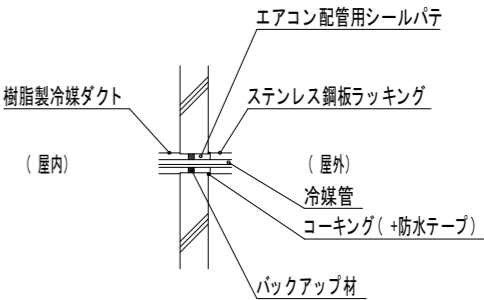
	名 称	仕 様	電 力 (参考)			数量	設置場所	備 考
			Φ	V	k W			
ACP-1	空冷ヒートポンプエアコン	天吊形 セパレート形 冷媒R32				8組	アリーナ	参考型番 GCXA16013MUB
		冷房能力 16.0 kW 暖房能力 18.0 kW						室外機参考外形寸法 1010×370×1550H
		圧縮機	3	200	3.29			室外機参考質量 104kg
		室外送風機	3	200	100W×2			室内機参考外形寸法 1586×690×235H
		室内送風機	3	200	139W			室内機参考質量 38kg
		付属品 防振ゴムパット、防護ネット（前面・側面・背面共）、						消費電力 4.90kW（冷房時）
		ドレンアップ装置、ワイヤードリモコン、標準フィルター、						6.22kW（低温暖房時） 15.88×9.52
		集中管理用アダプター、その他標準品一式						
CR-1	集中リモコン	カラー液晶モニタータッチパネル式（室内機ごとの単独運転・設定可能）	1	100/200	0.1	1	玄関ホール	参考型番 BMS-CT1280TU
		運転停止、温度設定、スケジュール運転管理、その他標準機能一式						
		付属品 アプリケーション、電源供給ユニット						
	防球ガード(A)	天吊形室内機用 底面屏形 鋼製				8	アリーナ	寸法は参考とし 採用メーカー室内機に 合致するものとする
		参考寸法 1800 L × 800 D × 350 H						
		付属品 取付金具、その他標準品一式						
	防球ガード(B)	天吊形室内機上面用 鋼製 室内機吊用ブラケット共				8	アリーナ	寸法は参考とし 採用メーカー室内機に 合致するものとする
		参考寸法 1800 L × 800 D × 300 H						
		付属品 取付金具、その他標準品一式						

凡 例

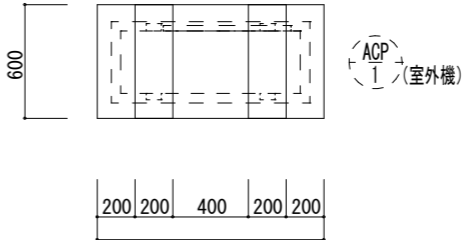
記 号	名 称	区分	材 料	継 手	備 考
—— R ——	冷媒管	共通	断熱材被覆銅管 JIS H 3300 (原管)	銅および銅合金の管継手 JIS H 3401	ガス管 (保温厚20mm) 液管 (保温厚10mm)
—— D ——	ドレン管	屋内一般	保温機能付きドレンパイプ	保温機能付きドレンパイプ用継手	
		屋外露出	カラーVP	カラーVP管継手	



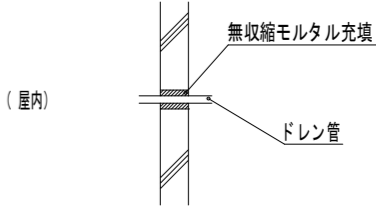
室外機基礎立面参考図（建築工事）



冷媒配管外壁貫通部処理参考図



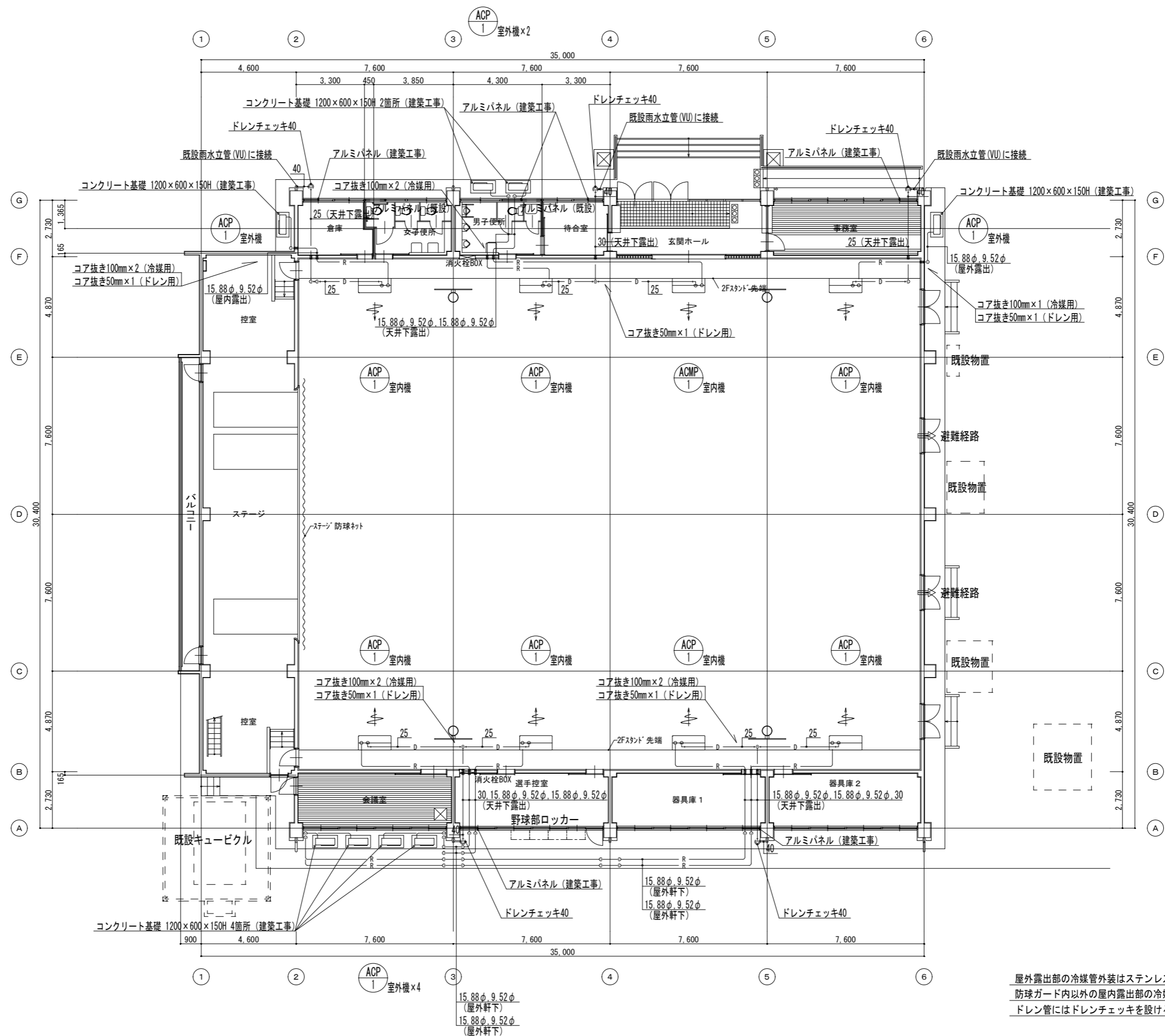
室外機基礎平面参考図（建築工事）




ドレン配管外壁貫通部処理参考図

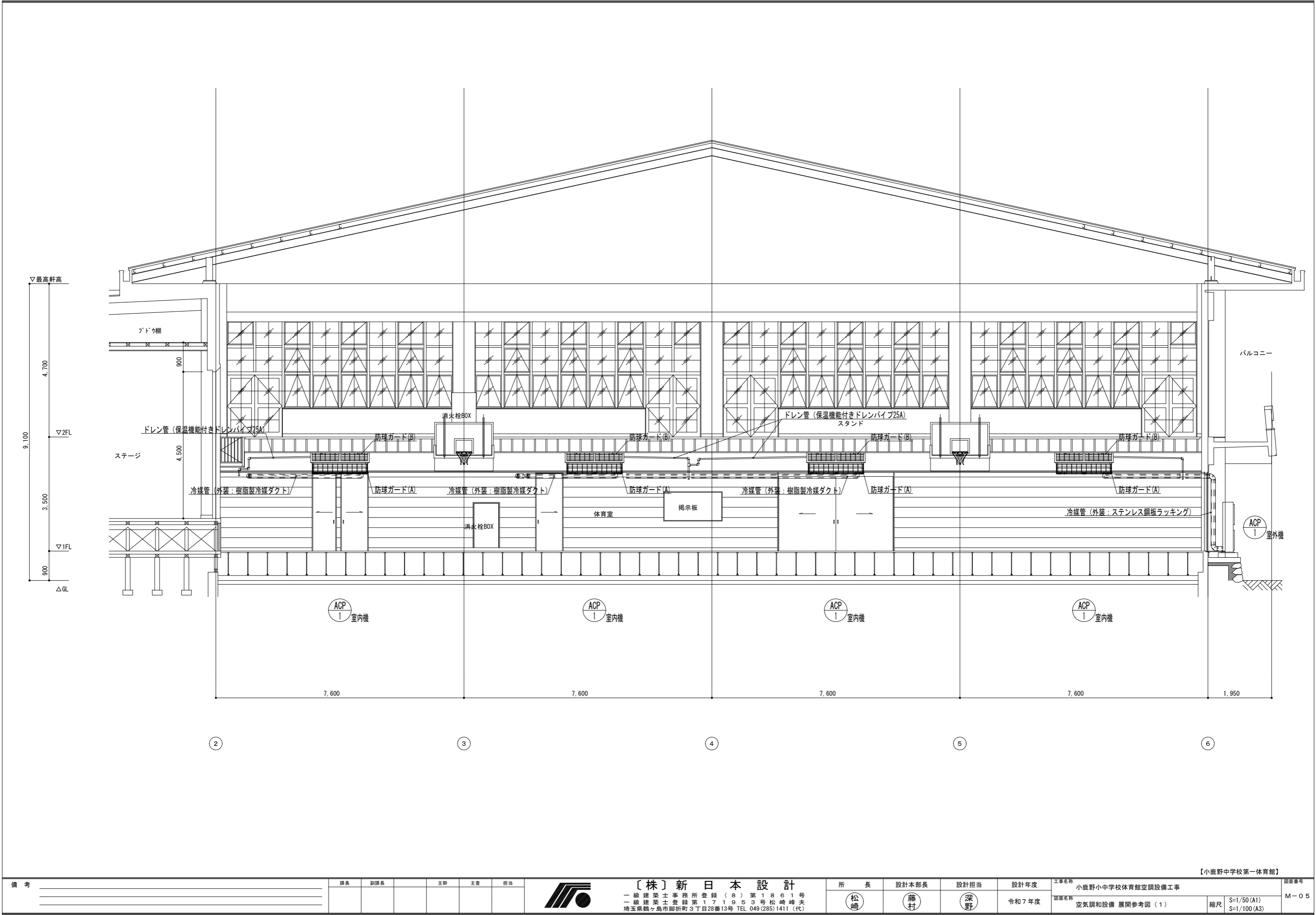
【小鹿野中学校第一体育館】


備 考	課長	副課長		主幹	主査	担当		〔株〕新日本設計 一級建築士事務所登録（8）第1861号 一級建築士登録第171953号 松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称	図面番号
									松崎	藤村	深野	令和7年度	小鹿野小中学校体育館空調設備工事	
													図面名称	M-03
													空調と設備 機器表・凡例・参考図	
													縮尺	S=NS (A1) S=NS (A3)

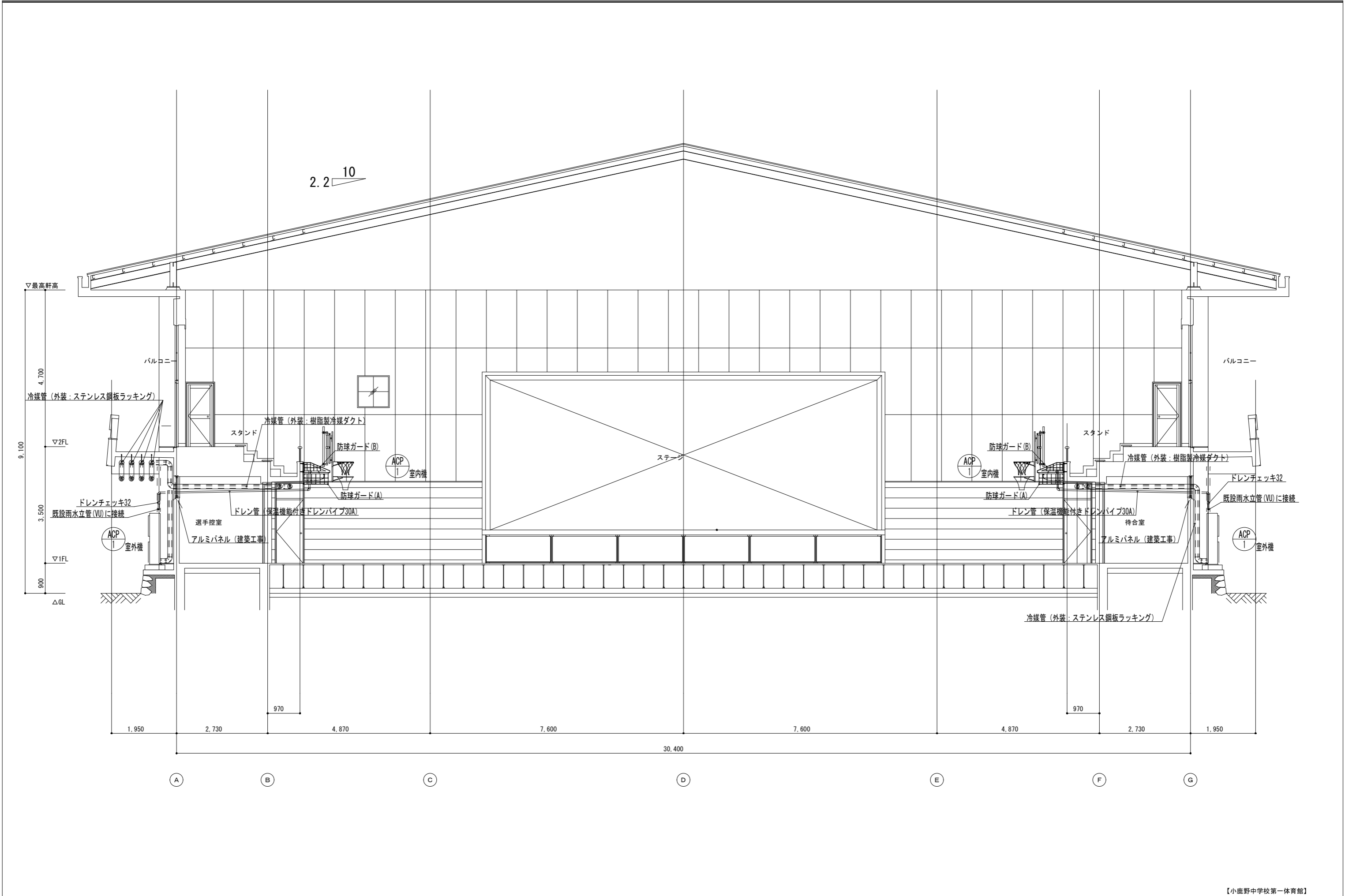



【小鹿野中学校第一体育館】

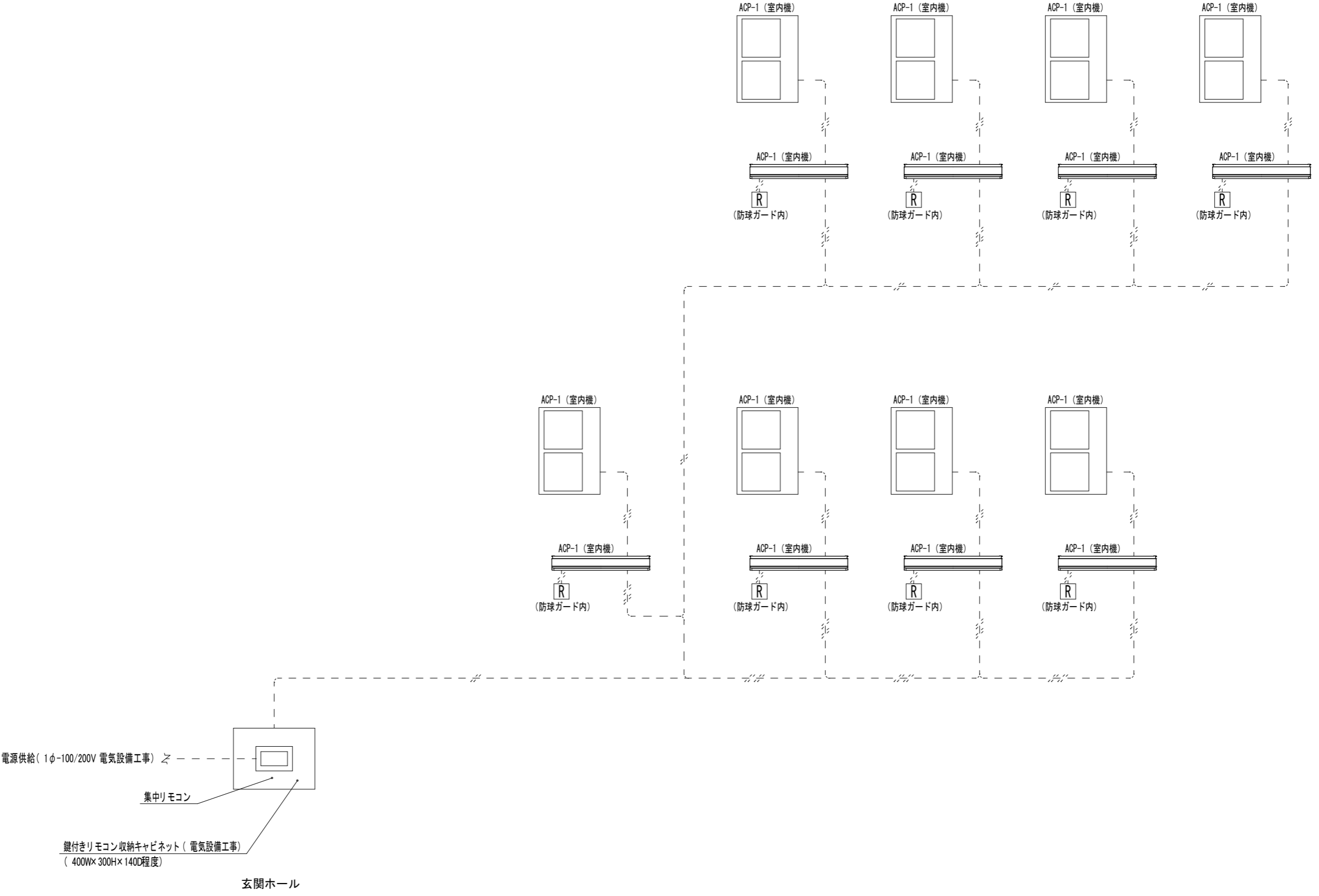
備 考		課長	副課長		主幹	主査	担当		〔株〕新 日 本 設 計 一級建築士事務所登録（８）第１８６１号 一級建築士登録第１７１９５３号 松崎 峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町３丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校校体育館空調設備工事	図面番号 M-04
										（松崎）	（藤村）	（深野）	令和7年度	図面名称 空調調和設備 1階平面図	



【小鹿野中学校第一体育館】																
備 考	課長	副課長		主幹	主査	担当		〔株〕新日本設計	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号 M-05
								一級建築士事務所登録（8）第1861号 一級建築士登録第171953号松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）	松崎	藤村	深野	令和7年度	図面名称 空調設備 展開参考図（1）			
														縮尺 S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)		



備 考					課長	副課長		主幹	主査	担当	 <div>〔株〕新 日 本 設 計 一級建築士事務所登録（8）第18661号 一級建築士登録第1719953号松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市御折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）</div>	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称			図面番号
													小鹿野小中学校体育館空調設備工事			M-06			
													図面名称						
													空調設備 展開参考図（2）		縮尺		S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)		



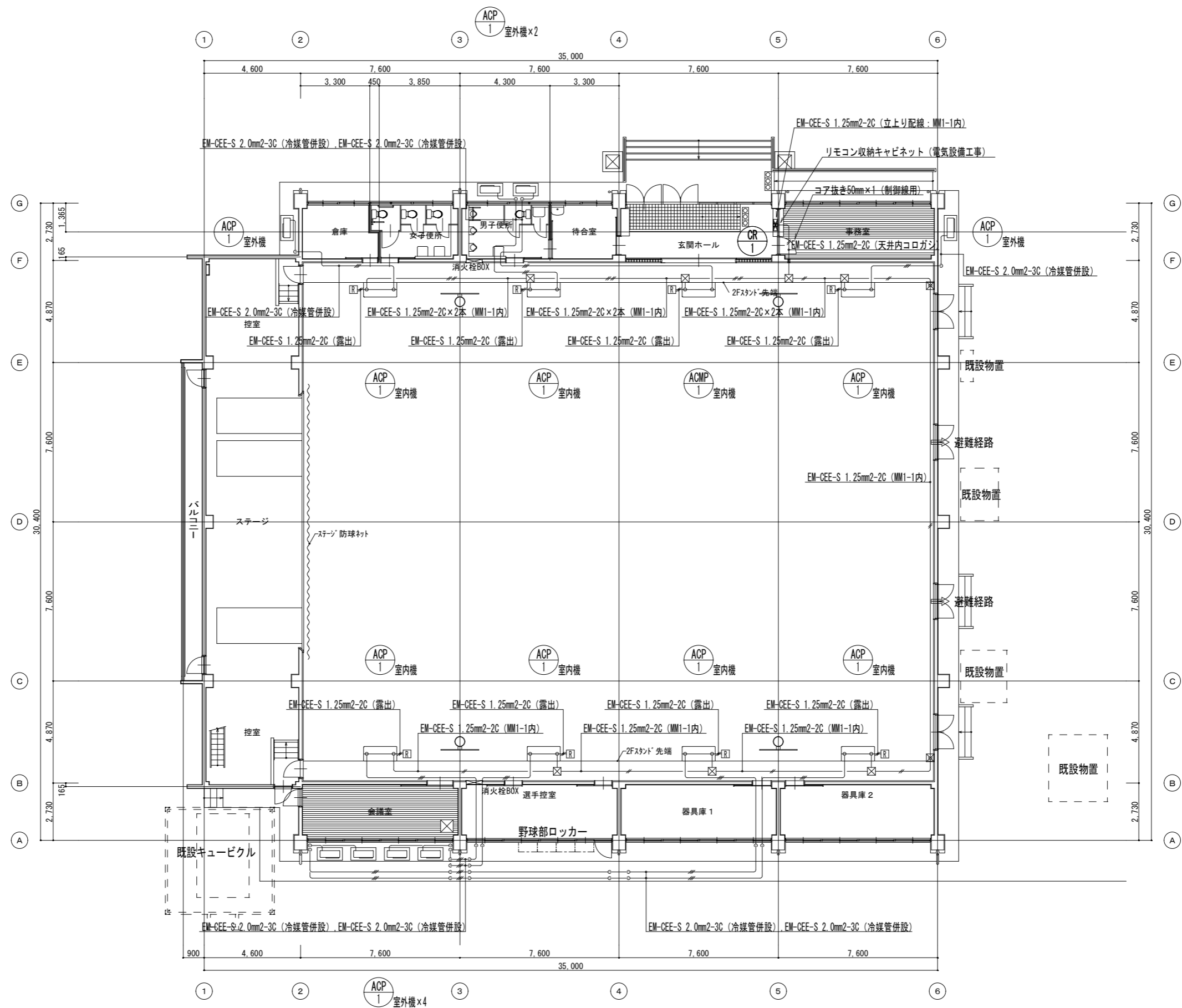
個別リモコンを設置せず、集中リモコンへのアドレスが取得できる場合は
個別リモコンの設置(防球ネット内)は不要とする

備 考						【小鹿野中学校第一体育館】				図面番号			
						課長	副課長	主幹	主査	担当	工事名称		
											小鹿野小中学校体育館空調設備工事		
											図面名称	縮尺	S=NS (A1) S=NS (A3)
											二次側配線設備 計装図		
													M-07







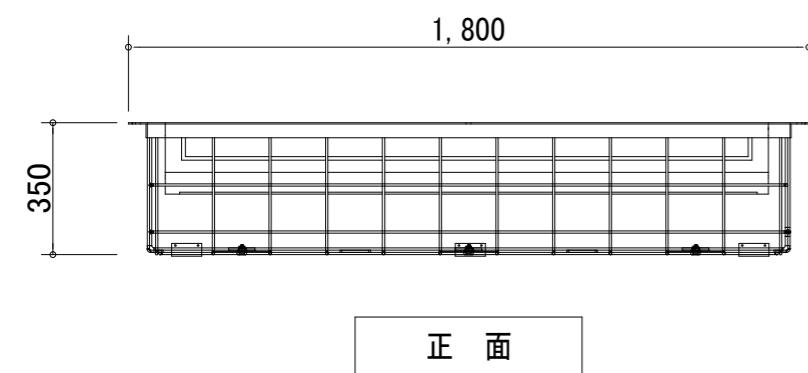
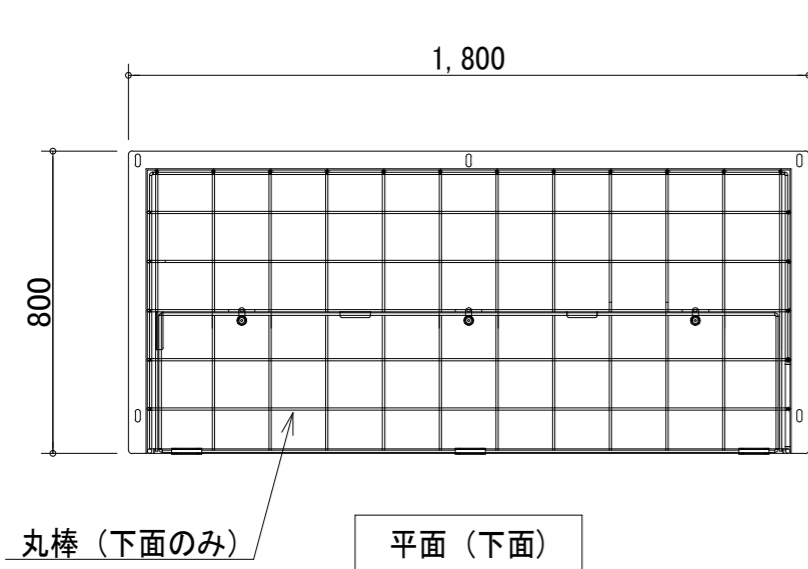
〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号 松崎 峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049 (285) 1411 (代)

所 長 設計本部長 設計担当 設計年度
松崎 藤村 深野 令和7年度



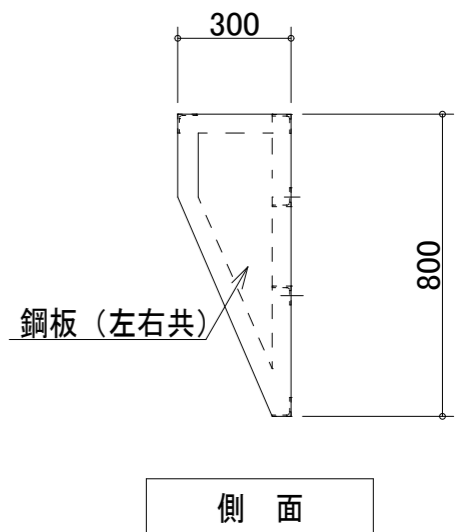
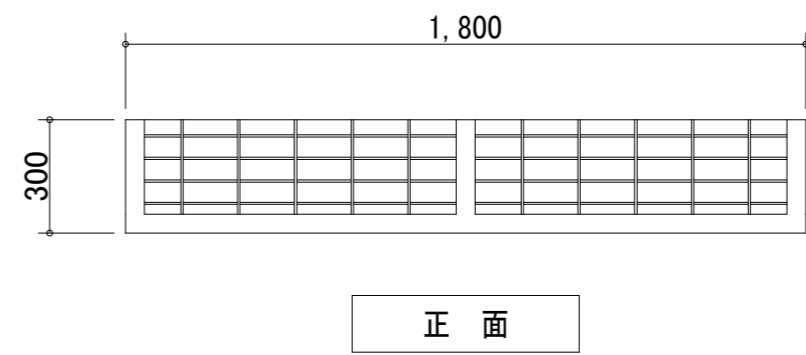
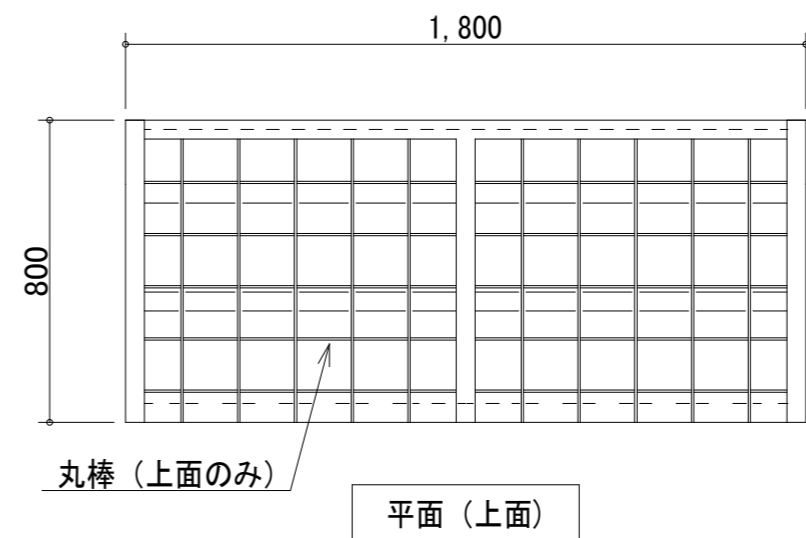
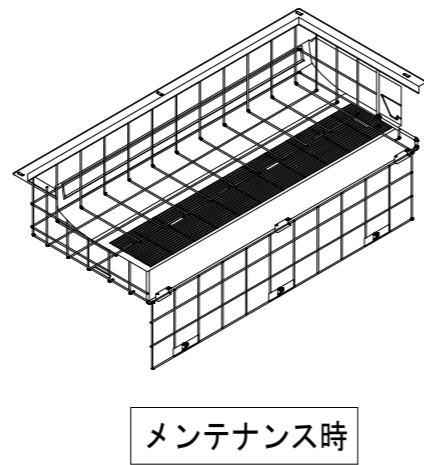
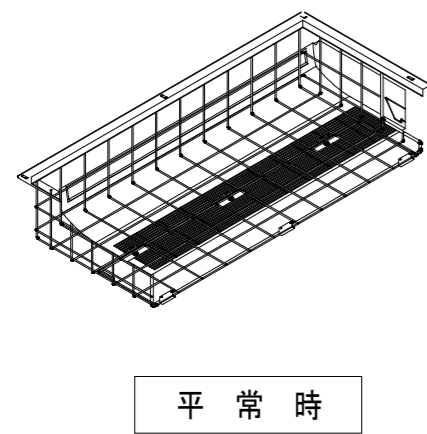
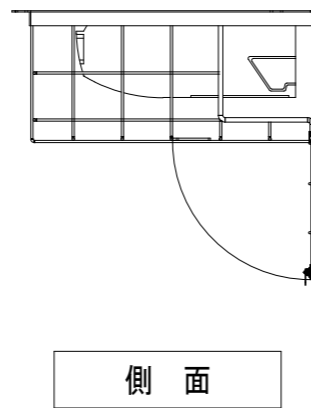
【小鹿野中学校第一体育館】

備 考	課長	副課長	主幹	主査	担当	 <div>〔株〕新 日 本 設 計 一級建築士事務所登録（８）第１８６１号 一級建築士登録第１７１９５３号 松崎峰夫 埼玉県鶴ヶ島市御折町３丁目28番13号 TEL 049(285)1411（代）</div>	所 長	設計本部長	設計担当	設計年度	工事名称 小鹿野小中学校体育館空調設備工事			図面番号 M-08
										令和 7 年度	図面名称 二次側配線設備 1階平面図	縮尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)		



防球ガード(A)仕様

材 質	SS400 t=3.2mm
	SS400 t=2.3mm
	SS400 t=6.0mm
	丸棒 φ6.0(一部φ12)
仕 上	2.5Y9/1 (半艶焼付塗装)
備 考	KGG-1835T-CR(参考型番)



防球ガード(B)仕様

材 質	フレーム L 50×50×4
	丸棒 φ6.0
	鋼板 1.6 t
仕 上	2.5Y9/1 (半艶焼付塗装)

【小鹿野中学校第一体育館】

備 考	

課長	副課長		主幹	主査	担当



〔株〕新日本設計
一級建築士事務所登録(8)第1861号
一級建築士登録第171953号松崎峰夫
埼玉県鶴ヶ島市脚折町3丁目28番13号 TEL 049(285)1411 (代)

所 長	設計本部長	設計担当	設計年度
松崎	藤村	深野	令和7年度

工事名称	小鹿野小中学校体育館空調設備工事
図面名称	空調設備 防球ガード参考図
縮尺	S=NS(A1) S=NS(A3)

図面番号	M-09
------	------